



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 札

上場会社名 健康ホールディングス株式会社

コード番号 2928 URL <http://www.kenkou-hd.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀬戸 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 香西 哲雄

TEL 03-5337-1337

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,570	2.8	△245	—	△262	—	△197	—
23年3月期第1四半期	3,474	89.5	465	120.0	452	128.1	244	119.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △197百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 255百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△639.38	—
23年3月期第1四半期	794.07	793.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,811	1,417	17.3
23年3月期	7,624	1,663	21.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,352百万円 23年3月期 1,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	165.00	165.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	81.67 ～102.09

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 連結当期純利益の8～10%を配当性向の目安とする配当方針をとっておりますが、配当時期につきましては未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,899	△0.2	△44	—	△79	—	△99	—	△323.14
通期	13,593	0.1	852	△29.1	781	△31.5	315	△49.8	1,020.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	308,590 株	23年3月期	308,590 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	308,590 株	23年3月期1Q	307,916 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災による直接的被害のほか、計画停電の実施により生産活動が低下するなど、厳しい状況となりました。

当社グループでは、人的被害はなかったものの、震災の影響により生産活動や商品の流通に制約を受け、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは震災後の個人消費の減速による売上高の減少を軽減するため、荷造運賃をはじめとする販売管理費の見直しや一般管理費削減の実施強化を行った一方、主力商品へと成長が見込まれる商品への戦略的な広告宣伝費の投下を行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,570百万円（前第1四半期連結累計期間は3,474百万円）、営業損益△245百万円（前第1四半期連結累計期間は465百万円）、経常損益△262百万円（前第1四半期連結累計期間は452百万円）、四半期純損益は△197百万円（前第1四半期連結累計期間は244百万円）となりました。

セグメント別の事業概況は、以下のとおりであります。

(美容・健康関連事業)

美容・健康関連事業は、大きく分けて「美容関連分野」と「健康食品分野」になり、美容関連分野は健康コーポレーション株式会社と株式会社ジャパングャルズを中心に事業を行っております。

この分野におきましては、震災の影響により東北地方への商品出荷停止やキャンセルのほか、新規の広告宣伝活動を一部自粛する等の影響がありました。また、この分野の主力商品である健康コーポレーション株式会社のESTENAD（エステナード）シリーズにおいて、昨年1月～3月の定期発送コースのリニューアル時に新規でご購入いただいたお客様のコース終了期が今年3月から第1四半期にかけて到来したことに伴い、定期発送のエステナードソニック&ジェルの出荷減少が続きました。

その一方で、昨年8月にリニューアル発売を行った「どろ豆乳石鹸 どろあわわ」がESTENAD（エステナード）シリーズに次ぐ商品として成長し、一部自粛をしていた広告宣伝活動を当該商品において積極的に展開したことで、「どろ豆乳石鹸 どろあわわ」の単月売上高が過去最高を更新したほか、出荷減少傾向にあったESTENAD（エステナード）シリーズにおいて、美顔器本体（エステナードソニック）の春の春色限定販売やジェルのキャンペーン企画販売が好調でありました。

また、株式会社ジャパングャルズにおきましては、個人消費の減速による店頭向け商品の販売が若干落ち込みましたが、外部OEM受託や一部商品の通信販売は好調でした。

健康食品分野は、健康コーポレーション株式会社を中心に事業を行っております。

この分野におきましても、震災の影響により東北地方への商品出荷停止やキャンセル等の影響がありましたが、昨年新商品として発売を開始した健康補助食品「元源黒酢」が新規顧客・出荷数ともに堅調に推移し、売上を伸ばしております。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は2,919百万円（前第1四半期連結累計期間は2,702百万円）、営業損益は△167百万円（前第1四半期連結累計期間は343百万円）となりました。

(食品関連事業)

食品関連事業は、乳製品の加工受託及び製造販売事業を主たる事業とする株式会社弘乳舎を中心に事業を行っております。

そのうち主力となるのは、生産余剰乳（以下、「余乳」という）の加工受託です。余乳の加工受託とは、乳業メーカー等で発生する余乳を預かり、バターと脱脂粉乳に加工して納める事業であります。生乳は、年間を通じ平均的に生産されるものではなく、乳牛の状態により夏場は少なく、冬から春にかけて多く生産される傾向にあります。また飲用乳は、学校給食が休止される年末年始や春休みに需要が減少し余剰する傾向にあります。したがって余乳は、生乳の生産と需要により発生量が影響を受けるため、その加工受託事業の売上高と利益も、第1四半期と第3四半期後半から第4四半期に偏重する傾向にあります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、例年は繁忙期となりますが、震災の影響により生乳不足となり、九州での余乳の発生が計画よりも大幅に減少し、生産余剰乳処理委託者（農業協同組合連合会・乳業会社）からの受託数量が減少し、余乳の加工受託事業は前年を下回る結果となりました。

一方、バター、脱脂粉乳等の販売を行う乳製品事業や昨年10月から新規事業として開始した店舗での飲食事業、土産用菓子販売事業が堅調に推移し、食品関連事業の業績を下支えいたしました。

この結果、食品関連事業の売上高は651百万円（前第1四半期連結累計期間は771百万円）、営業利益は24百万円（前第1四半期連結累計期間は184百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、5,145百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が516百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、2,666百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、7,811百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12.6%増加し、3,721百万円となりました。これは主として、未払金が502百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、2,672百万円となりました。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、6,394百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて14.8%減少し、1,417百万円となりました。これは主として、利益剰余金が246百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年6月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、平成23年6月8日公表の当第1四半期連結会計期間の業績予想は、売上高3,511百万円、営業損益△250百万円であります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,284,462	2,088,026
受取手形及び売掛金	862,816	1,378,868
商品及び製品	1,007,340	909,190
仕掛品	4,525	5,528
原材料及び貯蔵品	363,334	257,196
未収還付法人税等	154,211	139,128
その他	258,093	437,337
貸倒引当金	△17,862	△69,809
流動資産合計	4,916,922	5,145,468
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,007,144	1,007,144
その他(純額)	737,217	735,311
有形固定資産合計	1,744,362	1,742,456
無形固定資産		
のれん	694,133	664,189
その他	40,644	19,044
無形固定資産合計	734,778	683,233
投資その他の資産		
投資有価証券	21,421	20,566
投資不動産	142,723	142,723
その他	74,780	87,137
貸倒引当金	△10,011	△10,032
投資その他の資産合計	228,914	240,395
固定資産合計	2,708,055	2,666,085
資産合計	7,624,978	7,811,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	396,939	358,150
未払金	552,402	1,055,054
短期借入金	792,285	800,500
1年内返済予定の長期借入金	925,348	1,076,964
未払法人税等	307,067	55,516
賞与引当金	49,386	63,086
返品調整引当金	33,667	52,041
その他	246,600	260,162
流動負債合計	3,303,697	3,721,475
固定負債		
社債	116,600	116,600
長期借入金	2,297,019	2,308,695
役員退職慰労引当金	27,954	30,423
退職給付引当金	167,055	167,853
その他	48,887	49,025
固定負債合計	2,657,516	2,672,597
負債合計	5,961,213	6,394,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	141,578	141,578
資本剰余金	147,672	147,672
利益剰余金	1,310,917	1,064,582
株主資本合計	1,600,168	1,353,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△855	△1,710
その他の包括利益累計額合計	△855	△1,710
少数株主持分	64,451	65,356
純資産合計	1,663,764	1,417,479
負債純資産合計	7,624,978	7,811,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,474,649	3,570,427
売上原価	1,394,733	1,347,437
売上総利益	2,079,916	2,222,990
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	827,605	1,414,558
その他	786,747	1,054,063
販売費及び一般管理費合計	1,614,353	2,468,622
営業利益又は営業損失(△)	465,562	△245,631
営業外収益		
受取利息及び配当金	42	280
受取賃貸料	778	570
補助金収入	2,571	—
その他	3,435	1,351
営業外収益合計	6,827	2,202
営業外費用		
支払利息	15,231	16,239
貸与資産減価償却費	70	17
その他	4,162	2,337
営業外費用合計	19,464	18,594
経常利益又は経常損失(△)	452,926	△262,023
特別損失		
固定資産売却損	—	698
固定資産除却損	16,260	2,191
役員退職慰労金	—	1,800
特別損失合計	16,260	4,690
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	436,665	△266,714
法人税、住民税及び事業税	253,646	68,631
法人税等調整額	△72,971	△138,944
法人税等合計	180,674	△70,313
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	255,991	△196,400
少数株主利益	11,483	904
四半期純利益又は四半期純損失(△)	244,507	△197,305

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	255,991	△196,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△171	△855
その他の包括利益合計	△171	△855
四半期包括利益	255,820	△197,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,336	△198,160
少数株主に係る四半期包括利益	11,483	904

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	美容・健康関連	食品関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,702,677	771,971	3,474,649	—	3,474,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	13,308	13,308	△13,308	—
計	2,702,677	785,280	3,487,958	△13,308	3,474,649
セグメント利益	343,693	184,378	528,072	△62,509	465,562

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	美容・健康関連	食品関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,919,184	651,242	3,570,427	—	3,570,427
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,053	6,053	△6,053	—
計	2,919,184	657,296	3,576,481	△6,053	3,570,427
セグメント利益又は損失(△)	△167,920	24,906	△143,013	△102,618	△245,631

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。